

[I]

1 から 10 までの自然数がそれぞれ 1 つずつ書かれた 10 枚のカードがある。この中から 3 枚を無作為に取り出すという試行を行う。

(1) 取り出された 3 枚のカードの中に、9 が書かれたカードが含まれ

ない確率は、 $\frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イウ}}}$ である。

(2) 取り出された 3 枚のカードの中に書かれた数の積が、3 の倍数で

ある確率は、 $\frac{\boxed{\text{エオ}}}{\boxed{\text{カキ}}}$ である。

(3) 取り出された 3 枚のカードの中に書かれた数が、全て偶数である

確率は、 $\frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケコ}}}$ である。

(4) 取り出された 3 枚のカードの中に書かれた数のうち、1 つだけが

奇数である確率は、 $\frac{\boxed{\text{サ}}}{\boxed{\text{シス}}}$ である。

(5) 取り出された 3 枚のカードの中から無作為に 1 枚を取り出したところ偶数が書かれていた。このとき、取り出された 3 枚の中に書

かれた数のうち、1 つだけが奇数である確率は、 $\frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{ソ}}}$ である。